

上映会

川崎の記録



— 記録映像でみる、川崎のうつりかわり —



ふるさとあさおシリーズより①,②,③『石仏は語る』④,⑤『時を越えて 麻生に伝わる郷土芸能』

2026年

7月24日(金) 13:00~15:00 受付開始: 12:30

上映作品: ふるさとあさおシリーズより『石仏は語る』『時を越えて 麻生に伝わる郷土芸能』

川崎市アートセンター 2階 小劇場

**入場
無料**

**事前
申込制**

申込期間: 2026年6月16日(火) 10:00~7月16日(木) 16:00

定員: 150名(自由席)



お申込み・詳細はこちら

上映会 川崎の記録



—記録映像でみる、川崎のうつりかわり—

地域を映した記録映像は、在りし日の風景や人々の営みを今に伝える大切な資料です。上映会「川崎の記録」では、そんな記録映像を区ごとに選りすぐり、市民の皆様にご紹介します。今回は麻生区に残る歴史・文化についての映像をセレクトしました。

上映会 ふるさとあさおシリーズ

麻生区の歴史や文化を掘り下げる記録映画のシリーズ。麻生区役所が企画し、制作は日本映画学校（現・日本映画大学）が手がけています。

ニュース映画「神奈川ニュース」より、麻生区にまつわるトピックも上映します



『石仏は語る』
(1997年ごろ/27分/16ミリフィルム)

黒川・早野・下麻生などに伝わる念仏講を取り上げた映像。人々が集い念仏を唱える様子から、信仰が暮らしに根付いていたことがうかがえます。



『時を越えて 麻生に伝わる郷土芸能』
(1992年/23分/16ミリフィルム)

高石・王禅寺・細山などに伝わるお囃子の歴史を、保存会へのインタビューや実演から紐解いていきます。リズムカルなお囃子が賑やかな映像です。

企画：川崎市麻生区役所/ふるさとあさお映画製作委員会 制作：日本映画学校（現・日本映画大学）

上映にあわせゲストによる解説も実施します。
小林 基男氏（柿生郷土史料館専門委員）

2026年
7月24日(金) 13:00 ~ 15:00

受付開始：12:30

定員：150名(自由席)

会場：川崎市アートセンター 2階 小劇場

入場 無料 事前 申込制

同日開催

講座 ホームムービー どう残す？



ご自宅に大切な思い出を記録した8ミリフィルムやビデオテープが眠っていませんか？テープの再生機器は生産終了し、フィルムは劣化するため、対策が必要です。大切な記録を残すために、視聴覚資料の適切な保管方法やデジタル化について学びます。

講師：郷田 真理子
(川崎市市民ミュージアム 映画・映像スタッフ)

2026年
7月24日(金) 15:30 ~ 16:30

受付開始：15:15

定員：15名

会場：川崎市アートセンター 1階 工房

参加 無料 事前 申込制

お申込み方法

申込期間：6月16日(火) 10:00 ~ 7月16日(木) 16:00

- ※1組4名まで応募可
- ※申込み多数の場合は抽選
- ※定員に満たない場合は締切後も申込み可能
- 詳細はWebサイトをご確認ください

申込方法：上映会・関連講座いずれもWebサイト、または往復ハガキからお申込みください

① Web申込みの場合

川崎市市民ミュージアムWebサイトよりお申込みください

※当選者のみに7月17日(金)にメールでご連絡します

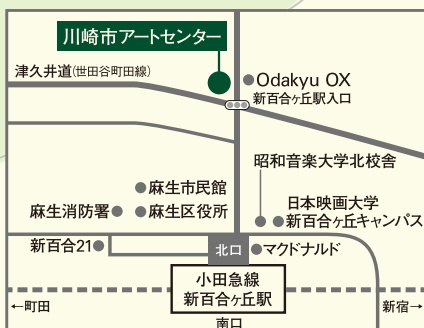
お申込み・詳細はこちら



② 往復ハガキによる申込みの場合 ※7月16日(木) 必着

2115-0021	
往信	返信
川崎市麻生区 上麻生6-15-2 川崎市市民 ミュージアム宛	申込者の ・郵便番号 ・住所 ・氏名
	①参加希望イベント名 ('上映会'、'講座' または'どちらも')と 記載) ②申込者の氏名 (フリガナ) ③郵便番号/住所 ④電話番号 ⑤参加人数 (最大4名まで)

※7月17日(金)に返信ハガキを返送(投函)いたします
※当落いずれも通知いたします



川崎市アートセンター

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
小田急線 新百合ヶ丘駅北口から徒歩3分

お問い合わせ：川崎市市民ミュージアム
TEL: 044-712-2800 (土日祝を除く8:30 ~ 17:15)
FAX: 044-712-2804
Mail: 25museum@city.kawasaki.jp
https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/34257/



次回開催

上映会「川崎の記録 中原区編」
日程：2026年11月8日(日)
会場：中原市民館 視聴覚室